

平成26年度 出納室  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定						
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
<p>市民サービスの実行を担保するために、公金の安全かつ確実有利な運用に努め、厳正な出納審査ならびに迅速な出納事務を執行し、明確な決算を確保する。</p> <p>公金を取り扱っていることを念頭に置き、法令や条例・規則に照らした適正な会計事務の執行。</p> <p>事務担当課と綿密な連携を取った迅速で効率的な会計事務の執行。</p>	1. 職員一人ひとりが予算の執行手続きの理解度を深め、支払遅延防止に努める。	・年間127千枚の収納通知書、41千枚の支出命令書を迅速に処理する。	・適正かつ迅速な審査等ができるよう自己研鑽を積む。 ・公共料金の口座振替の推進	・会計規則等を遵守し、迅速な支払い処理に努めている。 ・公共料金の支払いについては、口座振替の促進に努めている。	B	・年度末に向け引き続き、会計規則等を遵守し、迅速な支払い処理に努める。 ・年度末に向け引き続き、未実施の公共料金の口座振替の促進に努める。
	2. 歳計現金、歳計外現金及び基金の適正管理及び有利な資金運用を図る。	・資金運用を計画的、効率的に実施することで、運用による歳入の確保を図る。	・「安全・確実かつ有利」を基本に、金融機関の経営状況の情報収集に努め、金利の動向を把握し運用方法を検討する。	・歳計現金、歳計外現金会計共通適正な運用に努めている。 ・基金の適正管理と有利な運用に努めている。	B	・年度末に向け引き続き、歳計現金、歳計外現金会計共通適正な運用に努める。 ・年度末に向け引き続き、基金の適正管理と有利な運用に努める。
	3. 正当債権者に対し、正確な請求金額の支払いに努める。	・支払依頼口座の情報に誤りが見受けられる場合があり、照会に時間を要し、指定金融機関の事務の軽減を図る。	・振込先口座の確認を徹底させるため指摘指導を強化する。	・債権者登録の推進や、口座振込依頼票の添付などにより、振込エラーの減少に努めている。 ・審査にかかる時間と人数を増やすことにより適正な支払い事務に努めている。	B	・年度末に向け引き続き、債権者登録の推進や振込エラーの減少に努める。 ・年度末に向け引き続き、適正な支払い事務に努める。
	4. 源泉所得税の徴収事務の適正化の徹底を図る。	・源泉所得税の徴収漏れがあったことを受け、このようなことが二度と起きないよう事務の適正化の徹底を図る。	・関係法令の確認の徹底とチェック体制の強化を図る。	・関係法令の確認の徹底と弁護士等の個人事業主への支払い、特に建築士への支払い時におけるチェック体制の強化に努めている。	B	・年度末に向け引き続き、関係法令の確認の徹底とチェック体制の強化に努める。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた B. 概ね達成できた C. 達成できなかった】